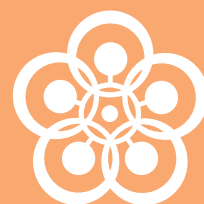
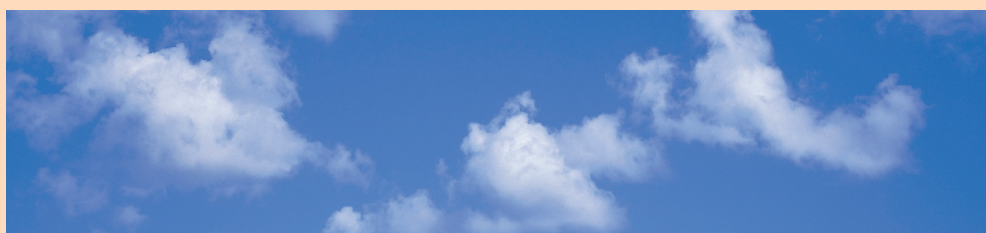


東京医科歯科大学医学部保健衛生学科

*School of Health Care Sciences, Faculty of Medicine,
Tokyo Medical and Dental University*



看護学専攻

Track of Nursing Science



検査技術学専攻

Track of Medical Technology

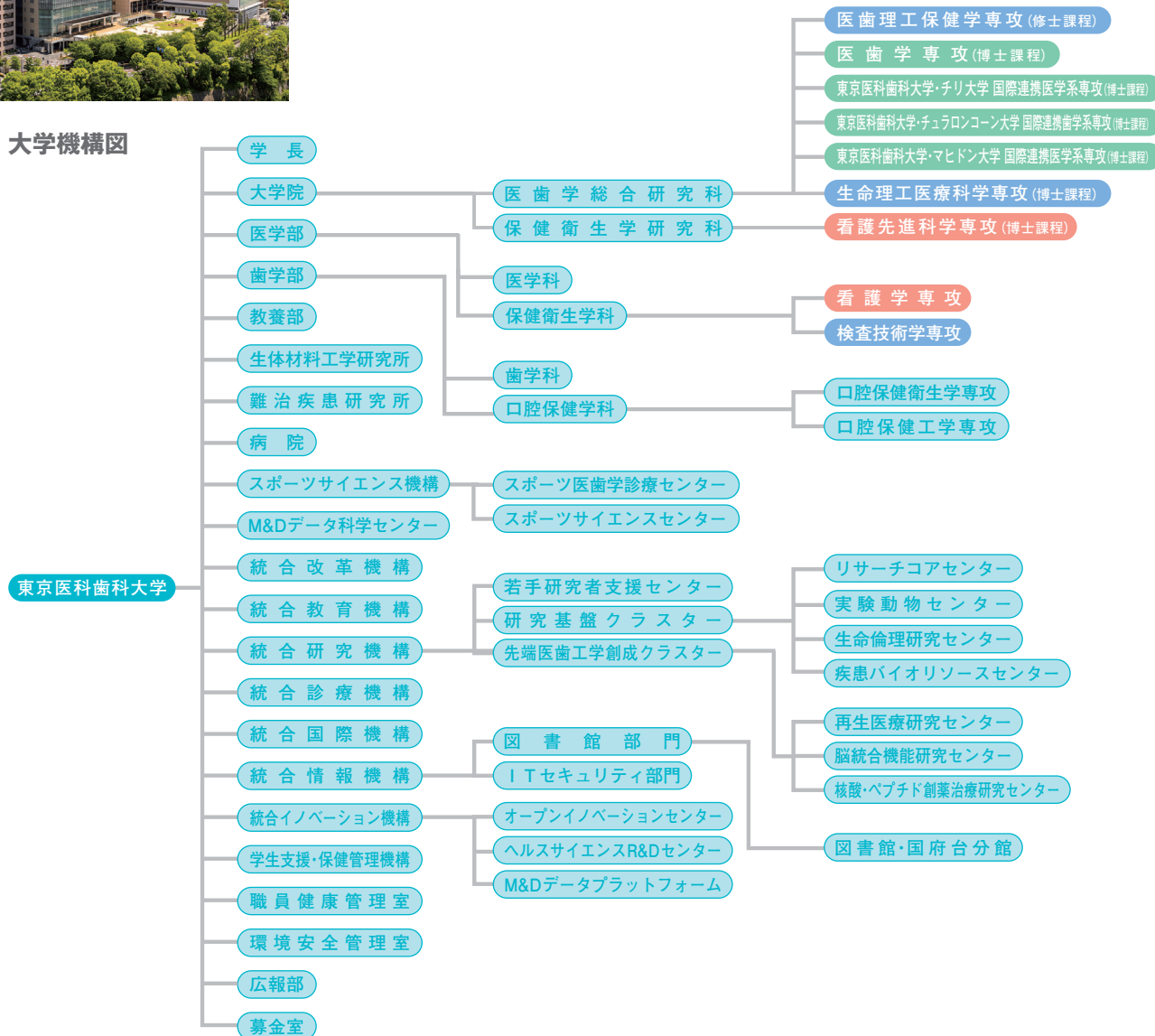




東京医科歯科大学の教育理念

- 幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養
- 自己問題提起・自己問題解決型の創造的人間の養成
- 国際性豊かな医療人の養成

大学機構図



保健医療チームの看護師・保健師・臨床検査技師としてのエキスパートを目指す教育体制

保健衛生学科の教育理念

本学科は、看護学、検査技術学の2つの専門領域における知識・技術を教授することにとどまらず、豊かな教養と高い倫理観に裏付けされた医療人としての感性を有し、学際的視野にたち、自ら問題を提起し、これを解決できる能力を備えた医療人を養成します。



あゆみ

- ・学科の創立は平成元年で、国立大学で初めての4年制の保健衛生学科として誕生しました。
- ・大学院は平成5年4月に博士（前期）課程、平成7年4月に博士（後期）課程が設置され、国際的に通用する本格的な教育者・研究者及び高度な専門職業人の養成を行っています。なお、平成13年度から大学院は部局化（重点化）され、保健衛生学科の教育研究組織は新しい大学院大学（保健衛生学研究科）に移行しました。部局化（重点化）された大学院と学部との有機的な連携のもとに、大学院の教員が保健衛生学科の教育を行っています。21世紀を迎え平成16年4月には医歯学総合研究棟（現、3号館）が完成し、本学科も新棟に移転し、教育研究体制も益々充実してきました。そして、平成26年4月より、総合保健看護学専攻は5年一貫制博士課程「看護先進科学専攻」へと改組しました。また同じく平成26年4月より、国内初である国公私立の共同教育課程である5年一貫制博士課程「共同災害看護学専攻」を設置しました。平成30年4月には検査系が大学院医歯学総合研究科に編入され、「生体検査科学講座」となりました。

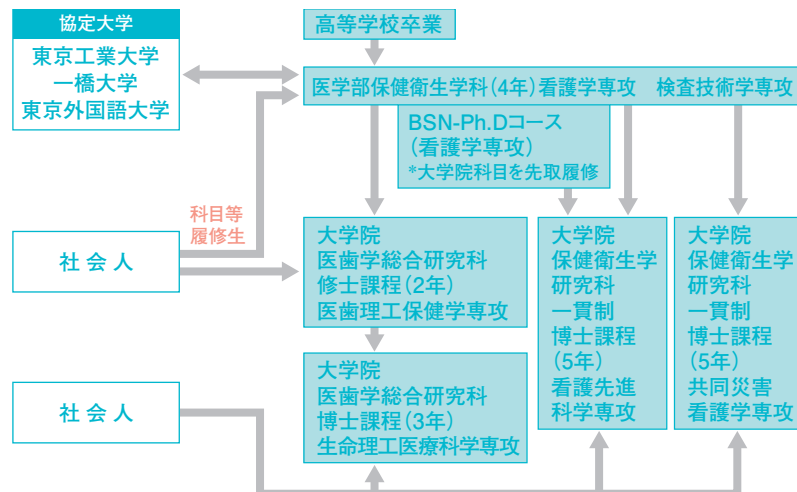
平成元年4月	東京医科歯科大学医学部保健衛生学科（看護学専攻・検査技術学専攻）設置
平成3年3月	医学部附属看護学校及び医学部附属臨床検査技師学校の閉校
平成5年4月	東京医科歯科大学大学院医学系研究科保健衛生学専攻（修士課程）設置（募集定員：看護学領域14名、検査学領域10名）
平成7年4月	東京医科歯科大学大学院医学系研究科保健衛生学専攻博士（後期）課程設置（募集定員：看護学領域5名、検査学領域4名）
平成13年4月	東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科2専攻設置 総合保健看護学専攻、生体検査科学専攻 博士（前期）課程募集定員：総合保健看護学専攻17名、生体検査科学専攻12名 博士（後期）課程募集定員：総合保健看護学専攻8名、生体検査科学専攻6名
平成26年4月	大学院保健衛生学研究科 総合保健看護学専攻を看護先進科学専攻に改組 大学院保健衛生学研究科 共同災害看護学専攻を設置 （5年一貫制博士課程募集定員：看護先進科学専攻13名、共同災害看護学専攻2名）
平成30年4月	大学院保健衛生学研究科 生体検査科学専攻を大学院医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻（修士課程）及び生命理工医療科学専攻（博士（後期）課程）に改組（医歯理工保健学専攻（修士課程）募集定員：107名、生命理工医療科学専攻（博士（後期）課程）募集定員：25名）

学部募集人員

		看護学専攻	検査技術学専攻
修業年限		4	4
募集人員		55	35
内訳	一般入試	前期日程	35
		後期日程	—
	特別選抜Ⅰ	（推薦入試）	20
		（国際バカロレア入試）※1	若干名
特別選抜Ⅱ		（帰国生入試）※2	—
			若干名

※1の募集定員は、特別選抜Ⅰ（推薦入試）の募集人員の内数とする。
 ※2の募集定員は、一般入試（前期日程）の募集人員の内数とする。

四大学連合並びに学部と大学院の連携



海外研修・留学支援

豊かな感性と国際性を兼ね備えた医療人育成の一環として、海外研修奨励制度の活用やその他の留学支援などにより、学生に海外研修の機会を提供しています。これまで米国、英国等の英語圏のほかに、アジアや北欧諸国などで多くの学生が貴重な経験を積んできました。特に海外提携大学であるフィンランドのセイナヨキ応用科学大学では、本学の学生のために保健医療に関する講義などのほか、保健医療機関での学習や、異文化体験も含めた充実したプログラムを提供しています。検査技術学専攻では海外交流協定校であるタイのチュラロンコーン大学と学部学生・大学院生の充実した派遣・受入を行っています。また、ラオス、ネパールなどの後発開発途上国における医療、看護、臨床検査の短期研修も行っています。



ワシントン大学の学生、教員との集合写真



ラオス農村部での母子保健教育を見学している学生

専門分野の第一線で活躍する教員による指導

博士課程看護先進科学専攻	講座	域	教育研究分野	
	基盤看護開発学	看護ケア技術開発学	ヘルスサービスリサーチ看護学	教 授 柏木 聖代
		ヘルスプロモーション看護学	公衆衛生看護学	教 授 月野木 ルミ 教育教授 森田 久美子
	臨床看護開発学	先端侵襲緩和ケア看護学	成人看護学	教 授 田中 真琴
		精神・人間発達看護学	精神保健看護学	教 授 谷口 麻希
			小児・家族発達看護学	准教授 岡光 基子
			リプロダクティブヘルス看護学	教 授 松崎 政代
	先導的看護システム開発学	在宅がんエンドオブライフケア看護学	在宅・緩和ケア看護学	教 授 福井 小紀子
		国際的看護システム開発学	国際看護開発学	教 授 近藤 暁子
		高齢社会看護システム管理学	看護管理・高齢社会看護学	教 授 緒方 泰子
災害・クリティカルケア看護学		災害・クリティカルケア看護学	教 授 佐々木 吉子	
博士課程共同災害看護学専攻			教 授 佐々木 吉子	

修士課程 医歯理工保健学専攻 (検査系) 博士課程 生命理工医療科学専攻 (検査系)	講座	教育研究分野	
	生体検査科学	形態情報解析学	教授 星 治
		血液・生体システム解析学	教授 伊藤 南 准教授 西尾 美和子
		臨床分析・分子生物学	教授 大川 龍之介 准教授 鈴木 喜晴
		生命情報応用学	教授 角 勇樹
		微生物・感染免疫解析学	教授 齋藤 良一
		疾患生理機能解析学	教授 柿沼 晴

看護学専攻の特徴

病院・施設・地域等の看護活動を包括的視野で捉え高度化と多様化する保健・医療・福祉の領域において学際的・国際的視野をもって様々な職種と連携・協働し、チームの中で看護の専門的役割を果たすと共に、看護学の発展に寄与する能力のある人材を養成することにあります。

検査技術学専攻の特徴

先端医療技術の進展に対応できる学際的視野と研究能力を備え、医学・保健医療における検査技術の発展に寄与し、新たな世代の指導にあたる臨床指導者・教育者・研究者として能力ある人材を養成することにあります。

教育内容

教養部における全学共通科目の履修を経て、看護学専攻あるいは検査技術学専攻専門科目を履修します。

看護学専攻では、専門基礎分野の科目、基礎看護学や臨床看護学、公衆衛生看護学、在宅看護学などの専門領域別分野の科目、卒業論文などの専門共通分野の科目を履修します。講義、演習、臨地実習を通して学ぶことにより、看護職に必要な専門知識と技術、看護実践能力を身に付けます。看護学専攻卒業者は、学士の学位の他に、看護師国家試験受験資格を取得することができます。また、選択制により保健師国家試験受験資格を取得することができます。保健師免許取得者は、必要な単位を修得することで養護教諭普通免許（2種）も申請できます。このほか、国際的な研究や実践を担う力を高めるため、全学的な取り組みと同時に、各学年で外国語の授業を履修できます。さらに、大学院の教育科目の先取り履修制度によって学部生のうちから大学院の単位を修得することができます。

検査技術学専攻では、1年次後期より専門科目を学び始め、2年次には基礎医学・検査学、3年次には臨床医学・検査学、臨地実習、4年次には卒業研究、総合講義などを学びます。その他にも多彩な選択科目があり、現代医療における臨床検査の役割を理解し、専門的知識と科学的思考能力を身に付けます。3～4年次には病院での臨地実習に続いて、各研究分野での卒業研究、研究発表や論文作成を通じて学問的探究心を養います。検査技術学専攻卒業者は、学士の学位の他に、臨床検査技師国家試験受験資格を取得することができます。

卒業すると取得できる学位・資格

看護学専攻	学位：学士（看護学）	検査技術学専攻	学位：学士（保健学）
	資格：看護師国家試験受験資格		資格：臨床検査技師国家試験受験資格
	保健師国家試験受験資格（※選択制）		
	〔保健師免許取得者：養護教諭免許（二種）〕		

教養教育・専門科目教育の連携

1 年次は教養部国府台のキャンパス（千葉県市川市）で医学科、歯学科及び口腔保健学科の学生と共に学び、将来、チーム医療に携わることを自覚します。教養教育と学部専門教育の連携を図るため、1 年次後期は週 3 日（月火金曜日）は湯島地区で専門科目を学びます。2 年次以降は湯島地区で、看護学専攻・検査技術科学専攻 2 年生は水曜日午後に、看護学専攻 4 年生・検査技術科学専攻 3 年生は火曜日午後に学科混合で教養セミナーを学びます。

教養部の教育理念

リベラル・アーツの重視

教育目標 教養教育の理念の実現のために、教養教育と専門教育を学ぶための基礎教育を並行して行い、以下の 4 つの力を学生に獲得させます。

- 1) 市民社会の一員として、自己と他者を理解するための幅広い教養と感性
- 2) 科学的に考え、理解し、自ら問題を見つけ継続して学ぶ力
- 3) 国際的な医療人として活躍するために必要なコミュニケーションの能力
- 4) 専門教育に必要な基礎学力や思考力、技術

カリキュラムの基本方針

リベラル・アーツの一層の充実 リベラル・アーツと連携教育の内容の明確化

・前期週 5 日、後期週 2 日：1 年次

リベラル・アーツ科目

担当：教養部教員 実施場所：国府台地区

・通年月 1 日：2 年次以降

共通領域科目

担当：教養部教員 実施場所：湯島地区 内容：教養セミナー I・II

学部専門科目

担当：学部教員 実施場所：湯島地区 内容：解剖学・基礎看護学 etc



- | | |
|---------------------------|----------------------|
| ① 2 学期制：前期 15 週／後期 15 週 | ④ 専攻に応じた自然科学系基礎科目の充実 |
| ② 教養総合講座の充実：1 グループ 15 人程度 | ⑤ 英語教育の充実：1 年間を通して必修 |
| ③ 人文社会科学系科目の更なる充実 | |

科目概要（2023 年度開講科目）

【全学共通科目】

自然科学系科目

● 専攻ごとに、専門課程の基礎となる自然科学系科目を重点的に学びます。

看護学専攻：統計学、化学基礎、生物学基礎、科学基礎実験

検査技術学専攻：物理学入門 or 化学入門 or 生物学入門、数学 I、物理学 I・II、統計学、化学、生物学、科学基礎実験

英語科目

● 前期 2 コマ 15 週、後期 1 コマ 15 週

英語 IA：コミュニケーション、英語 IB：リーディング・ライティング、英語 IC：選択制

共通領域科目

● 必修科目として、幅広い医療人としての素養を養います。

・教養選択科目、教養基礎セミナー、グローバル教養総合講座、情報科学 *両学科とも 1 年次に履修

・教養セミナー I *両学科とも 2 年次に履修

・教養セミナー II *看護学専攻：4 年次、検査技術学専攻：3 年次にそれぞれ履修

その他、人文科学・社会科学・フィジカルウェルビーイング・外国語系科目を学びます。

専攻別カリキュラム



取得単位数

全学共通科目		28.5単位
専門科目	①看護師免許のみ取得する者	102単位
	②看護師及び保健師免許を取得する者	107単位
卒業単位計		①130.5単位 ②135.5単位

	専門基礎分野		専門共通分野		専門領域別分野	
	必修科目	自由科目	必修科目	自由科目	必修科目	選択科目
1年次	解剖学、生化学、病理学、微生物学、栄養学、アカデミック・リテラシー		AI・データサイエンスのための数学、医療とAI・ビッグデータ入門、国際保健看護学I、看護制度論	国際保健福祉A	人間の健康と看護、基盤看護学実習I、看護の統合と実践、多職種連携I	
2年次	生理学、薬理学I、薬理学II、病態学	憲法、英語II	保健医療福祉制度論、健康教育学演習	実践看護英語I、国際保健福祉B、インディペンデントスタディA	基盤看護学I、基盤看護学II、基盤看護学演習I、基盤看護学演習II、基盤看護学実習II、フィジカルアセスメント、成人の健康と看護、成人看護学、心の健康と看護I、心の健康と看護II、小児の健康と看護、小児看護学I、公衆衛生看護学I、在宅看護学I、多職種連携II、災害看護学	
3年次	疫学、System based medical terminology I	憲法、英語II、IMRAD Format Presentation in English	卒業論文I、卒業論文II	実践看護英語II、国際保健福祉C、インディペンデントスタディB	クリティカルケア看護学、成人看護学演習、成人・老年看護学実習I、緩和ケア看護学、精神看護学演習、精神看護学実習、小児看護学II、小児看護学演習、小児看護学実習、性と生殖と健康と看護、周産看護学I、周産看護学II、周産看護学演習、周産看護学実習、高齢者の健康と看護、老年看護学、老年看護学演習、成人・老年看護学実習II、公衆衛生看護学II、在宅看護学II、在宅看護学演習、在宅看護学実習	リハビリテーション看護学※2
4年次	Nurse Patient Communication	憲法、英語II、IMRAD Format Presentation in English、Diagnostic Procedures in English	国際保健看護学II、産業保健学、卒業論文II	実践看護英語III、国際保健福祉D、インディペンデントスタディC	看護の統合と実践実習、クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング、看護マネジメント学	公衆衛生看護学III※1、公衆衛生看護学演習※1、公衆衛生看護学実習※1、成人・老年看護学実習III※2、総合看護学実習※2

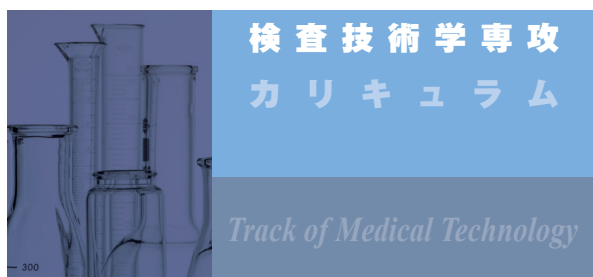
- 保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。
- 保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の3科目を選択すること。



成人看護学演習（グループワーク）



基盤看護学演習（感染防御）



取得単位数

全学共通科目		28.5単位
専門科目	必修科目	107単位
	選択科目	102単位
卒業単位計		135.5単位

	必修科目	選択科目	自由科目
1年次	人体構造学講義、病理検査学講義(I)、生化学講義(I)、分析化学検査学I、医用システム情報学講義(I)、病原体検査学講義(I)、臨床検査総合管理学、多職種連携I、短期海外研修A、AI・データサイエンスのための数学、医療とAI・ビッグデータ入門、アカデミック・リテラシー		
2年次	人体構造学実習、病理検査学講義(II)、病理検査学実習、血液検査学講義、生化学講義(II)、生化学実習、薬理学、分析化学検査学II、医用システム情報学実習(I)、生理学講義、臨床生理検査学講義(I)、生理学実習、臨床生理検査学実習(I)、病原体検査学実習(I)、免疫検査学講義、遺伝子・染色体検査学講義、医学情報処理演習(I)、臨床病態学(I)、多職種連携II	遺伝学、生命理工学概論、分子生物学、心臓生理学、AI実践演習、四大学連合複合領域コース開講科目、医療とAI・ビッグデータ応用、Learning Medical English、英語II	短期海外研修B
3年次	血液検査学実習、分析化学検査学III、医用システム情報学講義(II)、医用システム情報学実習(II)、臨床生理検査学講義(II)、臨床生理検査学実習(II)、病原体検査学講義(II)、病原体検査学実習(II)、免疫検査学実習、遺伝子検査学実習、臨地実習、卒業研究(I)、System based medical terminology I	遺伝学、生命理工学概論、生体医工学、分子生物学、心臓生理学、アドバンスド生理機能検査学、心電図判読、四大学連合複合領域コース開講科目、医療とAI・ビッグデータ応用、Learning Medical English、英語II	短期海外研修C、IMRAD Format Presentation in English
4年次	医学情報処理演習(II)、公衆衛生学講義、公衆衛生学実習、医療概論・関係法規、臨床病態学(II)、多職種連携、総合講義、卒業研究(II)、Diagnostic Procedures in English	遺伝学、分子生物学、心臓生理学、アドバンスド生理機能検査学、心電図判読、AI実践演習、四大学連合複合領域コース開講科目、医療とAI・ビッグデータ応用、Learning Medical English、英語II	短期海外研修D、IMRAD Format Presentation in English

【卒業要件について】

- 必修科目に加え選択科目から6単位以上を習得し、4年次にはそのうち2単位以上を修得する。(選択科目6単位のうち2単位以上は外国語科目を修得する。)
- 自由科目は卒業要件には含まれない。



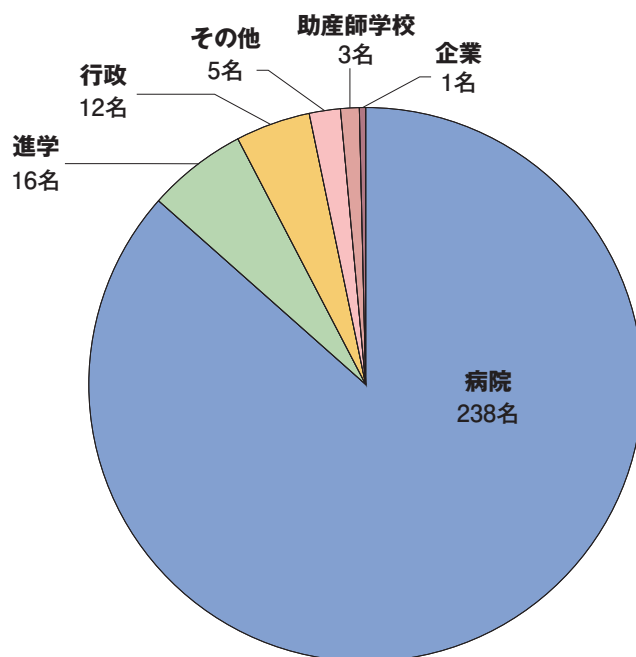
病原体検査学実習(II)



人体構造学実習

卒業後の進路

看護学専攻（過去5年間 2018～2022 275名）



主な進路先

就職（看護師）

- ・東京医科歯科大学病院（旧・医学部附属病院、旧・歯学部附属病院を含む）
- ・東京大学医学部附属病院
- ・金沢大学附属病院
- ・国立成育医療研究センター
- ・東京都立多摩総合医療センター
- ・神奈川県立こども医療センター
- ・さいたま赤十字病院
- ・NTT 東日本関東病院
- ・三井記念病院
- ・東大和病院
- ・湘南美容クリニック
- ・東京大学医科学研究所附属病院
- ・熊本大学病院
- ・国立がん研究センター中央病院
- ・東京都立小児総合医療センター
- ・山梨県立中央病院
- ・虎の門病院
- ・聖路加国際病院
- ・井之頭病院
- ・河北総合病院
- ・千葉大学医学部附属病院
- ・国立国際医療研究センター病院
- ・東京都立大塚病院
- ・埼玉県立がんセンター
- ・日本赤十字社医療センター
- ・九段坂病院
- ・がん研究会有明病院
- ・足立区東部病院
- ・レジーナクリニック

就職（保健師）

- ・東京都
- ・千葉県
- ・山形県
- ・中央区
- ・大田区
- ・世田谷区
- ・杉並区
- ・板橋区
- ・足立区
- ・武蔵野市
- ・王子生協病院

進学（大学院）

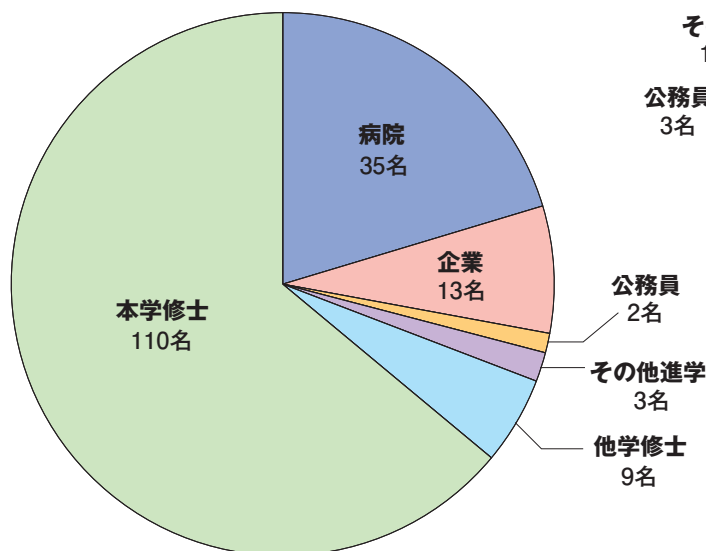
- ・東京医科歯科大学
- ・東京大学
- ・日本赤十字看護大学

進学（大学・専門学校等）

- ・東京都立大学
- ・名城大学

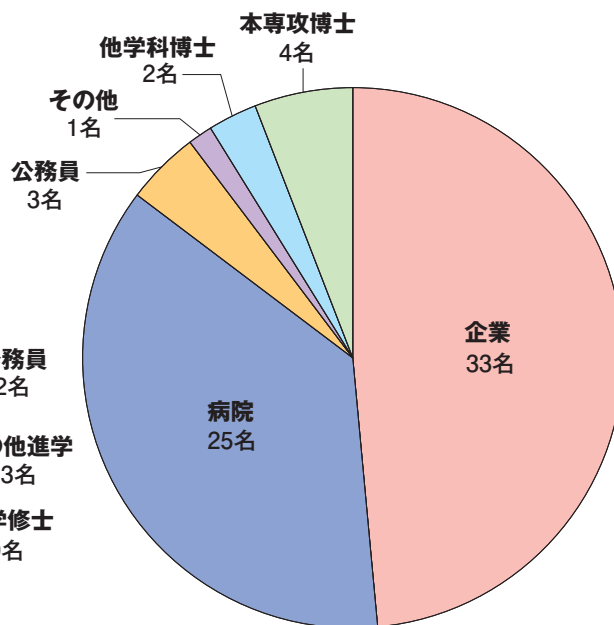
検査技術学専攻

(過去5年間 2018~2022 172名)



大学院 修士

(過去5年間 2018~2022 68名)



主な進路先 (過去5年間 2018~2022)

就職 (臨床検査技師)

- 東京医科歯科大学病院 (旧・医学部附属病院、旧・歯学部附属病院を含む)
- 東京大学医学部附属病院
- 慶応義塾大学病院
- 北里大学病院
- 東京医科大学八王子医療センター
- 警視庁刑事局犯罪鑑識官
- 横浜市医療局
- がん研究会有明病院
- 武蔵野赤十字病院
- 横浜市立大学附属病院
- 順天堂大学医学部附属順天堂医院
- 北里研究所病院
- 聖マリアンナ医科大学病院
- 東京都立病院機構
- 虎の門病院
- 山王病院
- さいたま赤十字病院
- 信州大学医学部附属病院
- 日本大学医学部附属板橋病院
- 杏林大学医学部附属病院
- 千葉県
- 聖路加国際病院
- 日本赤十字社医療センター

就職 (企業)

【検査機器・試薬関連】

- キヤノンメディカルシステムズ株式会社
- シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
- テルモ株式会社
- 株式会社リコー
- 株式会社 LSI メディエンス

- GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
- シスメックス株式会社
- 富士フイルム和光純薬株式会社
- 株式会社日立ハイテク

【製薬関連】

- アステラス製薬株式会社

- 第一三共株式会社

【治験関連】

- イーピーエス株式会社

- シミック株式会社

就職 (大学・官公庁・研究所)

- 環境省
- 農林水産省
- 国立感染症研究所
- 順天堂大学
- 東京工科大学
- 帝京大学

進学 (大学院)

- 東京医科歯科大学
- 東京大学
- 東京工業大学
- 京都大学
- 順天堂大学

卒業生紹介

看護学専攻 卒業生

同窓会会長 佐々木 吉子さん

第5回生

本学大学院保健衛生学研究科
教授

5つの大学で共同して、災害看護の教育や研究に携わっています。大災害が起こっても、人々が安全に安心して暮らすために、看護職が果たせる役割は大きいと思います。平時からの備えや発災時のケアなど、看護に寄せられる期待を感じながら日々挑戦しています。



樋口 信子さん

第11回生

東京医科歯科大学病院 看護部
外来 乳がん看護認定 看護師

本学卒業後、医学部附属病院に就職し、現在は乳がん看護認定看護師として勤務しています。乳癌治療は個性が高く患者さんが治療を理解して意思決定する事が難しく、また、治療が患者さんの生活や人生にも影響するため、患者さんに寄り添い支援をしています。看護師の役割を実感でき、やりがいを感じています。



石橋 久美子さん

第15回生

NECフィールドینگ（株）
人事部 保健師

社員の健康を支援する仕事に携わっています。心身の不調を抱える社員のサポート、治療と仕事の両立支援に留まらず、近年では健康経営が社会的注目を浴び、健康増進や予防領域での活躍を期待されることも増えています。仕事で活躍するために欠かせない健康という側面から社員を支え会社の発展にも貢献でき、日々大きなやりがいを感じています。



南谷 真理子さん

第16回生

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
ライフ・バリュークリエーションユニット シニアコンサルタント

本学卒業後、病院勤務や学位取得を経て勤務をしています。医療現場をよりよく変革させるには、臨床業務だけでなく研究成果の社会実装や、医療政策を変える役割も必要との課題意識からこの仕事を選択しました。官公庁の医療政策に関するプロジェクト、医療研究のPJMO (Project Management Office)、民間企業の医療DXの支援等、産官学のプロジェクトに広く関わっています。



小林 桃子さん

第22回生

フィンランド セントラルホスピタル
看護師

本学在学中に得た3週間の研修をきっかけにフィンランドに魅了され、学部卒業後に改めて留学し、EUのRN資格を取得しました。現在はフィンランドのセントラルホスピタル、脳外科集中リハビリ病棟で働いています。これから看護師としての経験を重ね、将来両国の看護の橋渡しになれば良いなと思っています。



平谷 七美さん

第27回生

本学保健衛生学研究科
精神保健看護学分野 大学院生

学部卒業後、児童精神科病棟で勤務し本学大学院に進学しました。大学院では講義やゼミを通して、学びを深めています。時に大変なことはありますが、研究に取り組む中で臨床を振り返って新たな気づきを得たり、ディスカッションを通してさまざまな知識や意見を吸収したりと、とても貴重な充実した日々を過ごしています。



検査技術学専攻 卒業生

齋藤 良一さん

第5回生

本学 大学院医歯学総合研究科
教授

学部卒業後、東京大学医学部附属病院で臨床検査業務に約12年従事し、国立感染症研究所の研究員を経て母校に教員として戻りました。現在は本学ガーナ感染症研究拠点を軸に国内外で細菌の環境適応やゲノム疫学等に関する研究を推進しつつ、国際的視点から教育研究活動を展開できる人材の育成に取り組んでいます。



市村 直也さん

第12回生

東京医科歯科大学病院 検査部
技師長

大学卒業後、2004年に本学附属病院に入職し、2019年より臨床検査技師長を務めさせていただいています。この間に細菌のもつ脂質の構造と、その脂質とHDLの相互作用の研究により博士号を取得しました。現在は、正確な検査結果を迅速かつ安定して医療者や患者さんに届けられるように検査室のマネジメントを行っています。



荻澤（佐藤） 恵美さん

第17回生

東京大学医学部附属病院
検査部

学部卒業後、3年間の病院勤務を経て本学大学院に進学し、博士号を取得しました。現在は再び臨床検査技師として病院検査部で働いています。日常業務では、異常データや希少な症例などに遭遇することもあります。疑問に思ったことを調べ、時には臨床医と連携しながら、大学院で身につけた研究構築能力を活かして、学会発表や論文報告をしています。

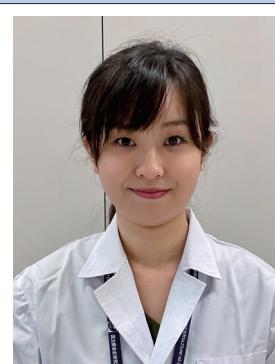


上野（菊池） みなみさん

第25回生

国立感染症研究所

学部卒業後大学院に進学し、アメリカ疾病管理予防センター（CDC）への留学、国立感染症研究所での研究生としての学修、研究により博士号を取得しました。現在は国立感染症研究所に勤務し、ウイルス検査、行政・疫学研究を学びながら進めています。検査を通して国内外の感染症対策の一助となれる人材を目指しています。



長谷川 瑛美さん

第27回生

農林水産省

大学院卒業後に農林水産省に入り、現在は食品中の有害化学物質・有害微生物の実態調査やそれらを減らすための研究事業、事業者等への手引きの作成などに携わっています。学生時代に培った化学・微生物学・生理学といった幅広い知識を活かし、臨床検査技師とは異なる立場から消費者の健康を守る仕事が出来、とても自分に合った職業だと感じています。

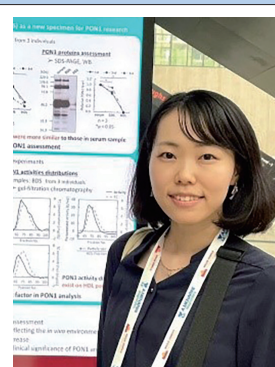


川口 莉奈さん

第29回生

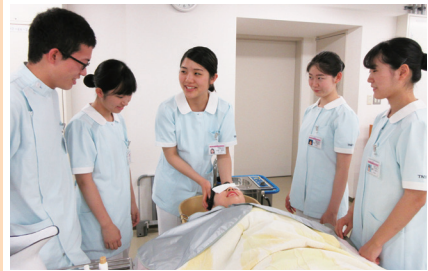
本学 大学院医歯学総合研究科
大学院生（博士課程）

学部卒業後大学院に進学し、現在博士課程にて研究を進めています。国内外問わず、多くの学会発表の機会を頂き、最先端の医療技術にふれながら、自身の研究をアップデートできるよう心掛けています。資金援助を受けており、研究に専念できる環境を頂いているため、臨床検査学の更なる発展に貢献できるよう「研究の楽しさ」を忘れず、日々研究に励んでいます。





*School of Health Care Sciences,
Faculty of Medicine,
Tokyo Medical and Dental University*



東京医科歯科大学医学部保健衛生学科

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

ホームページ <http://www.tmd.ac.jp/>

医学部 保健衛生教務係 TEL 03-5803-5119